



◇ 今回は、名古屋大学大学院人文学研究科で考古学を専攻する山内良祐さんです！！

挑戦とつながり ～考古学を通じて～

こんにちは。私は名古屋大学大学院人文学研究科博士課程前期課程1年の山内良祐です。大学院では考古学を専攻し、縄文時代の研究を行っています。今回は関高校OBとして、私の大学生活の経験や、大学院に在籍している現在の思いなどを伝えたいと思います。この文章が関高校に在籍している方、そして関高校に進学したいと考えている方の今後の人生の参考になれば嬉しく思います。

考古学って？

大学生活についてお話しする前に私が専攻している考古学について少しお話しします。みなさんの考古学に対するイメージはどのようなものですか？ エジプトのピラミッド？ インディ・ジョーンズ？ 少し詳しい方だと縄文土器や前方後円墳などを思い浮かべる方もいるかもしれません。考古学はそのような過去の人々が残した遺跡や物から人類の歴史を解明していく学問です。歴史の教科書に書いてある内容の大半は文字のある時代に書かれた文献から明らかになった歴史です。しかし、文字のない時代、例えば私が研究している縄文時代のことに、また、文字のある時代でも、文字に残らないことについて知りたいと考えたとき、考古学ではその当時人々が使っていた土器などの道具を手掛かりにして歴史を明らかにしていくことができます。

大学での生活

私は大学では考古学について学びたいと考え、考古学研究室がある名古屋大学文学部に進学しました。1年生の頃は広く人文学全体について学び、2年生になり考古学研究室に配属され、本格的に考古学について学ぶことになりました。考古学は研究方法や研究成果を勉強することはもちろん、発掘調査の方法を学び、また実際に行うことも重要です。そのため、日々の授業も講義形式のものに加え実習形式のものも多くあります。そして、長期休暇などには実際に発掘調査を行い、方法と技術を学びます。発掘調査は研究室でも行っていましたが、学外で行われているものに参加することもありました。そういった調査では調査の担当の方、他大学の学生、地元の方々などたくさんの人と出会いました。

大学時代は研究室の先生方、同期や先輩・後輩、そして調査で出会った方など多くの人にお世話になりながら考古学に没頭していました。



学内での発掘調査の様子

挑戦と経験 ～エルサルバドルでの発掘調査～

このように考古学を学ぶ中で私は様々なことにチャレンジしました。その中でも特に印象に残っているのは、大学3年生の時に中米のエルサルバドルでの発掘調査に参加したことです。大学の第二言語で少し習った程度のスペイン語で現地の人とコミュニケーションがとれるのか、慣れない地での生活、調査はうまくいくのだろうかと不安もありましたが、挑戦してみるとそのような心配は杞憂に終わりました。片言のスペイン語ではありましたが、一緒に発掘調査に参加した学生や作業員の方に日本について話し、反対にエルサルバドルについて教えてもらいました。ただ日本で生活しているだけでは触れられない異なる文化に触れて自分の知見を広げるいい機会になりました。

エルサルバドルから日本に帰る前には途中メキシコで一人旅もしましたが、そこでも現地の人、日本から来た人などと出会い、話をしたり、現地の遺跡を巡ったりと普段できない貴重な経験ができました。この時の経験から様々なことに挑戦し、経験し、自分の糧にしていくという姿勢が大事であることを実感しました。



新しいつながり

最後に大学院生活について少しお話しします。文学部なのに大学院？と思う方もいるかもしれませんが、私は大学で考

古学を学ぶうちに卒業論文だけではまだまだ足りない、もっと過去の人々について研究して様々なことを明らかにしたいと思い大学院に進学しました。

大学院では自分の研究に費やせる時間が増えるので、大学時代よりもさらに考古学に関わることができます。大学院に進学し、大学時代よりもさらに積極的に学会や研究会に参加していくうちにさらに多くの方と知り合うこととなりました。そして、他の研究会や調査について教えてもらい、また新たな出会いの機会を手に入れることができました。新たな人との出会いがまた別の出会いの始まりになります。これからも私は積極的に人と関わり、そのつながりを大切にしながらまた新たなつながりを作り続けていきたいと思います。

おわりに

大学では自分が本当にやりたいことに打ち込める環境が待っています。私の場合は考古学でしたが、学問でなくてもスポーツでも音楽でも何でもできます。また、そのように打ち込めるものを探すこともできます。そのためには何事にも挑戦していく姿勢、そして出会った人とのつながりを大事にし、また新たなつながりを作っていくということが大切です。このことは大学生活だけに言えることではなく、高校生活でも同じかと思います。挑戦しない者にチャンスは訪れません。みなさんもこれから先、様々なことに挑む姿勢を忘れず、人とのつながりを大切にし、光り輝く将来を切り開いていってください。最後になりますが、みなさんの今後の発展を祈っています。

メキシコ・テオティワカンの
太陽のピラミッドにて